

流行性嘔吐下痢症(感染性胃腸炎)を予防しよう

◆予防のために、注意すること

- ・トイレの後、調理の前、食事の前は、必ず、石けんを用いて十分に手を洗うこと。
- ・おう吐、下痢の症状があるときは、ノロウイルスやロタウイルスの感染を疑い、トイレ後の手洗いを徹底すること。また、手洗い後のタオルの共用を避けること。
- ・便やおう吐物の処理をする際は、直接手を触れず、使い捨て手袋を使用し、おう吐物等の飛散に注意し、塩素系消毒液を用いて処理すること。
- ・通常、感染後1～3日で回復するが、下痢やおう吐による脱水症状を起こすことがあるため、早めに医師の診察を受けること。

◆おう吐物の処理のしかた(参考:兵庫県健康福祉部生活消費局生活衛生課)

吐物の処理

吐物の処理を甘くみてはいけません!

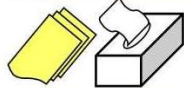
吐物には大量のノロウイルスが...



1gあたり
1万～10万個程度
のウイルスが存在

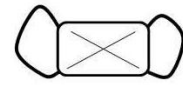
吐物の処理に準備するもの

使い捨てタオル、ティッシュ
新聞紙



吐物のふき取り
に使用

マスク



吐物の粒子を吸
い込まないため
に使用

手袋・ガウン
(できれば使い捨て)



手指などを吐物
の汚染から防ぐ
ために使用

ビニール袋2枚
(液漏れしないもの)



吐物などの廃棄
に使用

塩素系漂白剤
(次亜塩素酸ナトリウム)



吐物の汚染を受けた床、衣類、布団などの消毒に使用
ノロウイルスは、「アルコール」
や「逆性石けん」などでは消
毒効果が期待できません!

石けん



手指の洗浄に
使用

吐物の処理方法①



①処理を始める前に、手袋、マスク、ガウン(エプロン)を着用しましょう。

吐物の処理方法②



②吐物を、使い捨ての雑巾、ティッシュ、新聞紙などのできる限り拭き取りましょう。



④ビニール袋に吐物や拭き取ったティッシュなどを入れ、袋の口をしっかり縛りましょう。



汚染箇所を5分間覆う
※換気をしましょう

③1000ppmの塩素系漂白剤に浸したタオルを、吐物で汚染を受けた場所に5分間覆い、その後水拭きしましょう。



⑤汚物が入った袋と使い捨て手袋、ガウンをビニール袋に入れ、口をしっかり縛り、廃棄しましょう。
(1000ppmの塩素系漂白剤を廃棄物が浸くらぬ入れることが望ましい)

吐物の処理方法③



⑥最後は、石けんでよく手を洗いましょう。最低30秒以上も洗いましょう。

注意点

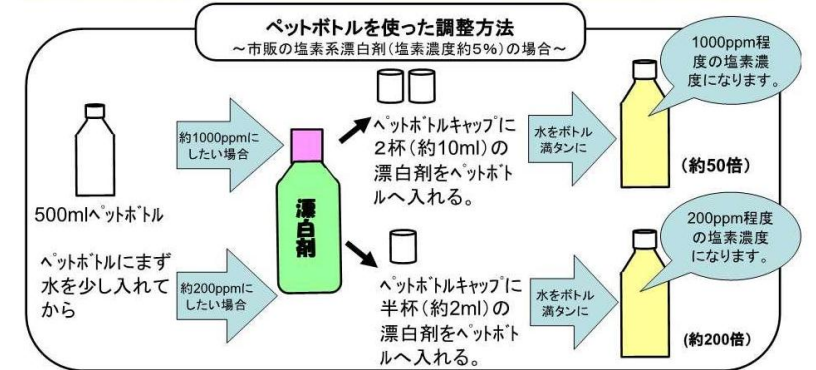
塩素系漂白剤は、ご家庭や保育所、幼稚園など小さいお子さんがいる施設では、大人がしっかり管理しましょう。

また、塩素は金属腐食性がありますので、拭き取った場所が金属の場合は、もう一度水拭きしましょう。

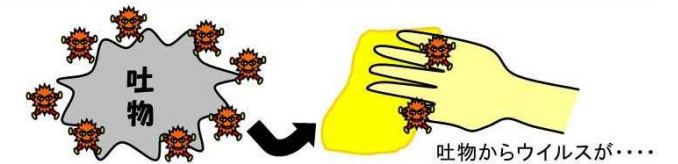
消毒液(次亜塩素酸ナトリウム溶液)の調整方法

通常は、200倍(200ppm)で消毒して下さい。

※素材によっては色落ちしてしまいますが、ノロウイルスを死滅させるために必要な手段です。



素手での処理は危険です!



消毒を徹底しないと危険です!

吐物により汚染を受けた床、衣類、布団、あるいは処理に用いた雑巾などを簡単な水洗いで済ませてはいけません!

ウイルスが死滅せずに残っているため、乾燥後にウイルスが空気中に飛散し、この粒子を吸い込むことにより感染することがあります。

